

最近の本学の取組等について
2024.6 ~ 2024.9

活動報告

1. ネーミングライツ事業実施契約の締結

本学は、本学の施設等に愛称を設定していただくことでステークホルダーの皆様との連携を拡大し、本学の教育及び研究環境を向上させるため、[ネーミングライツ事業](#)を実施しており、この度、ゴムノイナキ株式会社及び日東工業株式会社とネーミングライツ事業実施契約を締結しましたのでお知らせいたします。本学は今後も本事業を推進していきます。

①ネーミングライツパートナー：ゴムノイナキ株式会社

対象施設：大学会館 2階 カフェテリア食堂

愛称：5617café（英）、ごむいなかふえ（日）

契約期間：2024年7月1日～2027年6月30日



大学会館 外観



5617café 内

②ネーミングライツパートナー：日東工業株式会社

対象施設：19号館 学生交流スペース・自習スペース

愛称：日東工業ラウンジ

契約期間：2024年8月1日～2027年7月31日



19号館 外観



日東工業ラウンジ入口

2. 2024 年度新任教員研修・シンポジウム

本学の理念・目標を理解することを目的とした新任教員研修及び新任教員の紹介を目的としたシンポジウムを開催しました。

新任教員研修では新任教員 10 名が受講し、学長、理事、副学長、事務局長が講師となり、人に寄り添う「心で工学」を合言葉とした将来ビジョン、評価、倫理などの講義が行われました。新任教員シンポジウムでは、初めに在外研究員として海外の大学に派遣された松盛准教授より報告があり、続いて、新任教員 11 名が自己紹介や研究内容などを発表し、テニュアトラック助教を中心に参加がありました。

また、シンポジウム終了後には意見交換会が実施され、新任教員を中心に役員、異分野の教員らと活発な意見交換が行われました。

日時：2024 年 6 月 24 日（月）9：30～17：00

場所：名古屋工業大学 4 号館 2 階会議室 3、1 階ホール

対象者：新任教員、役員、教職員、学生

内容：在外研究員報告 講演者：スイス連邦工科大学チューリッヒ校派遣 松盛 裕明 准教授

新任教員発表（発表順）

水野 義紀 教授（基礎類 基礎科学分野）、

古川 萌 准教授（基礎類 人文社会・言語分野）、

安川 直樹 助教（生命・応用化学類 生命・物質化学分野）、

岸本 拓磨 助教（物理工学類 材料機能分野）、

金子 栄樹 助教（電気・機械工学類 機械工学分野）、

錦野 達郎 助教（生命・応用化学類 生命・物質化学分野）

稲井 邦博 教授（基礎類 基礎科学分野（保健センター））

山本 義哉 准教授（基礎類 基礎科学分野（産学官金連携機構））

大沼 真奈美 助教（基礎類 人文社会・言語分野）

DING Ning 助教（情報工学類 メディア情報分野）、

田中 裕士 助教（電気・機械工学類 電気電子分野）、

参加者数：66 名



小畑学長による講義（新任教員研修）



新任教員による発表（新任教員シンポジウム）

3. 8月オープンキャンパス

受験生（高校1～3年、既卒生等）及びその保護者を対象にしたオープンキャンパスを開催しました。

日時：2024年8月1日（木）

対象者：受験生（高校1～3年、既卒生）、保護者等

内容：

- ・受験生向け講演会

- ①「大学での「学び」の楽しみ方～有意義な高校生活の先にあるもの～」アドミッションオフィス長 林 篤裕 教授

- ②「名工大で輝く自分を発見しよう～学生生活の先にあるもの～」キャリアサポートオフィス長 日原 岳彦 副学長

- ・保護者向け講演会

- ①「大学概要」前田 健一 副学長

- ②「名古屋工業大学の共通教育について」吉田 江依子 副学長

- ・模擬授業及び研究室見学

- ・座談会、個別相談会

- ・校内ツアー

参加者数：3,398名



受験生向け講演会



模擬授業・研究室見学（電気・機械工学科）

教員の受賞等

1. 令和6年度愛知発明表彰「愛知発明大賞」を受賞

受賞団体：井門 康司 理事・副学長、富山 幸治氏（住友理工株式会社、本学博士後期課程修了・博士号取得）

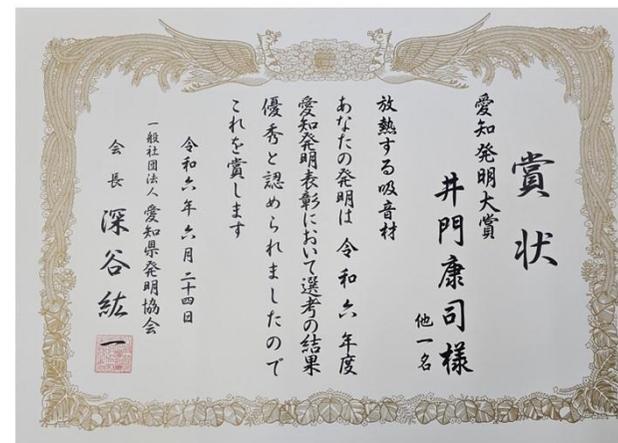
受賞対象：（特許）放熱する吸音材

概要：愛知発明表彰は、愛知県内における発明の奨励・振興を図ることを目的に、県内で優秀な発明をした者を表彰する事業で、一般社団法人愛知県発明協会が昭和55年から実施しています。

今回発明した「放熱する吸音材「MIF®）」は、既存技術では対応が難しかった防音性と放熱性の両立を実現させた発明として高く評価されたことにより大賞を受賞し、2024年6月24日に名古屋商工会議所にて表彰式が行われました。



井門理事・副学長（右）



2. ドイツ・エアランゲンニュルンベルク大学（FAU）から名誉博士号を授与

対象者 : 柿本 健一 理事・副学長

概要 : 2024年7月11日、柿本健一理事・副学長が、ドイツ・エアランゲンニュルンベルク大学（FAU）から名誉博士号（Dr.-Ing. e.h）を授与されました。柿本理事の専門分野「圧電材料」における研究業績を讃えられたものです。授与式後には、「Lead-free Piezoelectrics - Challenges and Chances」と題した記念講演を行いました。

名古屋工業大学とFAUは、2009年のセラミック分野での部局間学术交流協定締結をはじめ、2011年に大学間学术交流協定締結、2013年にFAUキャンパス内への事務所を設立、2019年に日本学術振興会の日独共同大学院プログラムの採択、さらに2024年4月からは、共同でジョイント・ディグリー（JD）プログラムである国際連携エネルギー変換システム専攻（博士後期課程）を開設し、教育・研究両面で非常に緊密な関係を構築してきました。

今回の名誉博士号授与を契機とし、両大学間の教育・研究交流が一層活発になることが期待されます。



柿本理事・副学長（中央）

3. 第8回バイオインダストリー大賞を受賞

受賞者：神取 秀樹 特別教授

受賞対象：ロドプシンの構造と機能の解明に基づく視覚再生への展開

概要：バイオインダストリー大賞は、2017年、一般財団法人バイオインダストリー協会の30周年を迎えるのを機に、次の30年を見据えて“最先端の研究が世界を創る—バイオテクノロジーの新時代—”をスローガンにスタートしたもので、バイオインダストリーの発展に大きく貢献した、または、今後の発展に大きく貢献すると期待される顕著な業績を表彰し、今年で8回目となります。

生命・応用化学類 神取 秀樹特別教授は、超高速分光法や赤外分光法を用いて、動物や微生物ロドプシンの光受容メカニズムを解明する基礎研究を進める中で、新しいロドプシンを発見するとともに、画期的な機能創成に成功しました。

発見・創成した2つのロドプシンは、それぞれ独自のメカニズムで高い光感度を実現しており、その優れた特性を活かした視覚再生ツールとして治療への臨床応用に道を拓いており、既にそれぞれのロドプシンに関するベンチャー企業が設立され、企業独自の取組も展開されています。

これらの功績は、ロドプシンの光受容メカニズムを解明する基礎研究に基づき、視覚再生への医療応用に道を拓く新規ロドプシンの発見・創成に成功したものであり、国内外のバイオインダストリーの発展に大きく寄与すると期待され、バイオインダストリー大賞にもっとも相応しいと高く評価されました。

本賞の贈呈式・受賞記念講演会は、2024年10月9日開催の国際的なバイオイベント“BioJapan 2024”にて行われます。

学生の受賞

1. 第19回情報危機管理コンテスト優勝、経済産業大臣賞を受賞

受賞者：チーム P01TERGEIST（齋藤・掛井研究室）

工学専攻情報工学系プログラム 神谷 直輝

工学専攻ネットワークプログラム 山根 一真

情報工学科 梅田 匠

第二部 電気情報工学科 山下 一樹

概要：情報危機管理コンテストは、ホスティングサービス等を運営する IT 企業のシステム管理者役になり、リアルタイムに発生するインシデントを解決していくコンテストです。本学チーム P01TERGEIST は、全国 29 チームにより行われた予選を勝ち抜き、2024 年 7 月 4 日～6 日に開催された同コンテストの決勝戦に進出しました。決勝戦で、本チームはインシデントを解決する技術力だけでなく、顧客企業への状況報告の内容なども含めた現場対応の適切さで高い評価を得て優勝し、経済産業大臣賞を受賞しました。なお、齋藤・掛井研究室の「チーム P01TERGEIST」は、今回で三年連続の優勝、経済産業大臣賞の受賞となりました。

